



# 平成29年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 システムソフト  
コード番号 7527 URL <http://www.systemsoft.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡部 正寛

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 森 玲子

TEL 092-732-1515

四半期報告書提出予定日 平成29年2月1日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年9月期第1四半期の業績(平成28年10月1日～平成28年12月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第1四半期	859	21.1	△13	—	△30	—	△31	—
28年9月期第1四半期	709	0.7	12	10.4	△6	—	△10	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	
29年9月期第1四半期	△0.46	—	
28年9月期第1四半期	△0.16	—	

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年9月期第1四半期	7,527	6,931	91.9	101.79
28年9月期	7,808	7,085	90.4	104.08

(参考)自己資本 29年9月期第1四半期 6,915百万円 28年9月期 7,057百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	0.00	—	2.00	2.00
29年9月期	—	—	—	—	—
29年9月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年9月期の業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,798	12.4	109	4.3	93	24.5	65	33.8	0.97
通期	3,800	7.7	457	3.2	434	13.0	346	11.7	5.12

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年9月期1Q	67,974,560 株	28年9月期	67,842,560 株
29年9月期1Q	31,719 株	28年9月期	31,719 株
29年9月期1Q	67,877,845 株	28年9月期1Q	67,771,241 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

当第1四半期累計期間(平成28年10月1日～平成28年12月31日)におけるわが国の経済は、政府による経済施策や日銀による金融緩和を受けて企業収益や雇用環境に改善が見られますが、新興国経済の減速、英国のEU離脱問題、米国新政権による政策の不確実性などにより株式や為替相場への影響が懸念され、先行きは不透明な状況が続いております。

当社が属する情報サービス産業におきましては、投資に対する企業の慎重な姿勢が一部には見られるものの、政府の日本再興戦略2016の提起に代表されるように、IoT、ビッグデータ、人工知能による第4次産業革命が進んできており、新たなサービスや商品が次々に登場し、今後の大きな発展が期待されております。スマートフォンの普及によって、個人がいつでもどこでもインターネットにアクセスできる環境が整ったことで、個々に保有されていた資産の有効活用による新たなビジネススキームであるシェアリングエコノミーが生み出されました。例えば、短期間で企業価値7兆円を実現したUberや、同じく企業価値3兆円を実現したAirbnbなどが飛躍的に拡大しております。

このような環境下、当社は、前事業年度に達成した東証一部指定による総合的な企業力を強みとして、既存事業の伸長はもちろん、IoT、ビッグデータ、人工知能及びシェアリングエコノミーなど「情報」をキーワードとした新たな事業への進出準備について、子会社を含め進めました。

これらの結果、当第1四半期累計期間における売上高は、前年同四半期に比して150百万円(21.1%)増加し859百万円、営業損失は13百万円(前年同四半期は営業利益12百万円)となりました。また、経常損失は30百万円(前年同四半期は経常損失6百万円)、四半期純損失は31百万円(前年同四半期は四半期純損失10百万円)となりました。

なお、当社におきましては開発案件の受注が下期に集中する傾向があることから、当第1四半期累計期間につきましては計画段階から損失を見込んでおります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① システムソリューション事業

Web技術をベースとするシステム開発に強みを持ち、不動産分野、情報通信分野、生損保分野、教育分野等のお客様に対して長年にわたってシステム開発及びソリューションサービスを提供することに加え、賃貸不動産情報サイトの運営を行っております。

当第1四半期累計期間におきましては前事業年度より継続して開発を行っている不動産分野を中心としたシステム開発が順調に推移したことにより、システムソリューション事業の売上高は、前年同四半期に比して167百万円(38.2%)増加し606百万円、セグメント利益は前年同四半期に比して37百万円(186.9%)増加し57百万円となりました。

#### ② マーケティング事業

日本におけるWebマーケティングサービス開始初期から培ってきた技術・ノウハウを活かし、大手企業を中心としたお客様に対して、Webマーケティングにおけるコンサルティングを中心に、そこから派生するシステム開発を含むソリューションサービスの提供を行っております。

当第1四半期累計期間におきましては、Webマーケティング・コンサルティングから派生したシステム開発は順調に増加いたしました。しかしながら、マーケティングに対する手法の多様化や他社との競合により、コンサルティング分野は厳しい状況が続いており、マーケティング事業の売上高は、前年同四半期に比して17百万円(6.5%)減少し257百万円、セグメント損失は9百万円(前年同四半期はセグメント利益53百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ280百万円減少し、7,527百万円となりました。これは主に、配当金の支払い等による現金及び預金の減少によるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ127百万円減少し、595百万円となりました。これは主に、未払法人税等や賞与引当金の減少によるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ153百万円減少し、6,931百万円となりました。これは主に、剰余金の配当に伴う利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、概ね当初計画どおりに推移しているため、平成28年10月31日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,673,656	1,361,691
受取手形及び売掛金	1,400,392	1,722,872
仕掛品	15,171	40,409
原材料	-	380
繰延税金資産	135,095	135,095
その他	26,541	52,306
流動資産合計	4,250,856	3,312,755
固定資産		
有形固定資産	84,410	79,860
無形固定資産		
のれん	2,590,088	2,545,857
その他	107,801	499,081
無形固定資産合計	2,697,889	3,044,938
投資その他の資産		
長期前払費用	556,510	607,410
その他	218,546	482,373
投資その他の資産合計	775,057	1,089,783
固定資産合計	3,557,357	4,214,583
資産合計	7,808,214	7,527,338
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	288,165	266,771
未払法人税等	61,992	4,408
賞与引当金	46,099	24,148
その他	114,048	94,069
流動負債合計	510,305	389,397
固定負債		
繰延税金負債	914	2,480
退職給付引当金	184,713	178,207
資産除去債務	17,245	17,291
その他	9,779	8,142
固定負債合計	212,652	206,122
負債合計	722,958	595,520

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,495,461	1,506,090
資本剰余金	4,251,663	4,262,292
利益剰余金	1,316,847	1,149,961
自己株式	△8,046	△8,046
株主資本合計	7,055,925	6,910,297
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,073	5,620
評価・換算差額等合計	2,073	5,620
新株予約権	27,257	15,900
純資産合計	7,085,255	6,931,818
負債純資産合計	7,808,214	7,527,338

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
売上高	709,922	859,983
売上原価	495,329	687,838
売上総利益	214,593	172,144
販売費及び一般管理費	202,549	185,517
営業利益又は営業損失(△)	12,044	△13,373
営業外収益		
受取利息	119	125
受取配当金	195	195
その他	542	80
営業外収益合計	857	400
営業外費用		
支払手数料	3,941	11,104
市場変更費用	13,125	1,735
その他	2,470	4,511
営業外費用合計	19,536	17,351
経常損失(△)	△6,634	△30,323
特別損失		
固定資産除却損	81	-
特別損失合計	81	-
税引前四半期純損失(△)	△6,716	△30,323
法人税、住民税及び事業税	3,346	939
法人税等調整額	569	-
法人税等合計	3,915	939
四半期純損失(△)	△10,632	△31,263



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自平成27年10月1日 至 平成27年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	システム ソリューション事業	マーケティング事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	434,530	275,392	709,922
セグメント間の内部売上 高又は振替高	4,560	-	4,560
計	439,090	275,392	714,482
セグメント利益	19,922	53,631	73,553

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	73,553
のれんの償却額	△44,231
全社費用(注)	△17,278
四半期損益計算書の営業利益	12,044

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自平成28年10月1日 至 平成28年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	システム ソリューション事業	マーケティング事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	602,531	257,451	859,983
セグメント間の内部売上 高又は振替高	4,260	-	4,260
計	606,791	257,451	864,243
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	57,165	△9,431	47,733

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	47,733
のれんの償却額	△44,231
全社費用(注)	△16,875
四半期損益計算書の営業損失(△)	△13,373

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。